

【事業名】「(仮称)立飛みどり地区プロジェクト」における需要・供給統合型CEMSを用いた再生可能エネルギーの
カスケード利用事業

(1) 事業概要

主な事業者	立川都市C、TGES、立飛H
事業地	東京都立川市緑町3-1、3-3、3-4
施設名称	(仮称)立飛みどり地区プロジェクト
面的利用エリア面積	約38,900㎡
主な再生可能エネルギー	太陽光発電、CGS廃熱、地中熱
面的利用先	ホール、ホテル、商業施設、オフィス等
主な導入設備	ガスエンジンコージェネレーション 370kW×1台 太陽光発電(PV) 20kW×1台 排熱利用(ジェネリンク) 739kW×1台 地中熱ヒートポンプ (HP) 568kW×1台 スクリューチラー 518kW×5台
事業期間 (稼働予定)	交付決定日～2020年2月 (2020年3月稼働予定)
省エネ効果見込	省エネ量：269kL/年、省エネ率：28.7%

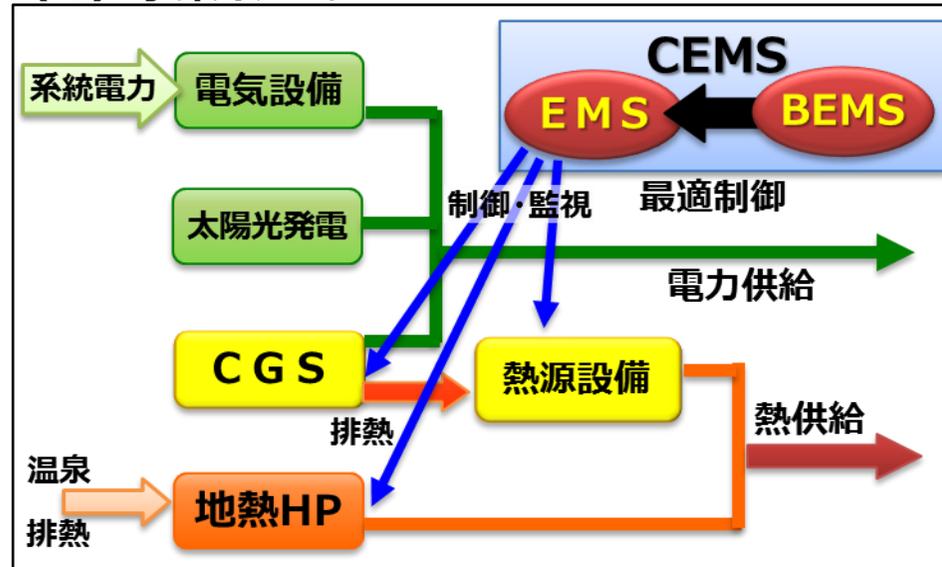
(2) 事業の特徴

- 太陽光発電に加え、CGS排熱、地産の地熱(温泉排水)をカスケード利用した熱を複数用途の建物群にて面的エネルギー利用。
- 需要側BEMSと供給側中央監視制御装置を統合したCEMSにて冷温水ポンプの末端差圧可変制御等の最適制御を行う。
- 地熱HP、太陽光発電設備を優先的に運転するとともに、CGSを熱需要主導運転とすることで、再生エネルギー利用率を最大化。

(3) 導入効果

- 省CO₂量：338t-CO₂/年、省CO₂率：21.2%

(4) 事業イメージ



(5) 面的利用概要

